

◆暮らしサポート サポート・ワン◆訪問介護
 ナイス・ケア◆通所介護ナイス・デイ◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介
 つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶のひら◆のひら治療院



vol. 231通信
 R元年11月7日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
 愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036
 代表TEL：(0567) 26-3921
 FAX：(0567) 26-3922
 ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

問合わせ・見学 大歓迎！！
 <利用状況案内板 (☆募集中★満員)>
 ☆ナイス・ケア
 ☆ナイス・デイ (定員 10名)

月	火	水	木	金	土
8	7	7	6	5	8

 ☆ナイス・ホーム (定員 21名、現在登録者 14名)
 ☆愛宕の家 (定員 17名中入居者 12名)
 ☆つしま紹介所 (有料職業紹介)
 ☆ナイス・キッズ (学童保育・託児)

<<11月行事予定>>
 11日 外出デイ
 19日 運営推進会議 (ナイス・ホーム)
 20日 避難訓練
 27日 誕生日会
 <<不定期行事>>
 天気や意欲等で状況判断し、外出先一覧を参考に社会生活に参加します。

<<教室案内>>
 ・打太鼓 来年度に向けて準備中♪
 ・コーラス 水曜日(月2回)
 場所：喫茶のひら
 ※職員やキッズ達の趣味活動を兼ねて各教室を発足。地域の方々にも参加していただけます。
 ※各教室月謝制で、定員あり。詳細はお問い合わせ下さい。

共に行う家事/ナイス・ケア
 要支援1、90代前半のAさん。今年の4月から“共に行う調理”で訪問介護を利用して見えます。男性が台所に立つなんて考えられない時代を生きてみえたAさん。炊飯程度はしてみえたようですが、調理をした経験はないとお聞きしました。『Aさんが、自立した生活を送れるために、きちんと食事を摂る事で体調を維持するため、の共に行う調理』という目標に向かって一緒に頑張っていける事が私達ヘルパーの目標。
 最初は、部屋から台所に移動してもらうことからスタート。次に、献立の相談や野菜等を冷蔵庫から出してもらう・・・、ゆっくりと進みはじめました。
 約半年経過した現在、Aさんは自ら台所に来て下さり、「今日は何をやるか？」と聞いてくださるようになりました。野菜の皮むきや盛り付け等何でも積極的に動いてくださり、調理方法を質問されるようにもなりました。台所に一緒に立ち、外の景色を眺め、昔話を笑顔でしながら、共に調理を行う時間が過ごせるようになりました。これから先、Aさんから「これを作りたい」「ここは手伝ってほしい」などの言葉が聞ける事が、家庭生活の意欲向上にも繋がると思います。また、そうなれるような声かけや関わりをさせてもらえるよう努めていきます(A・H)

～年末年始営業のお知らせ～
 今年より年末年始の営業日が変わっています。ご確認ください。
 ★暮らしサポート サポート・ワン：年末年始休みなし (ただし、割増期間となります。)
 ★ナイス・ケア：12/29～1/3 お休み (ただし、日常生活に支障がある場合は要相談にて対応を検討。)
 ★ナイス・デイ：12/31～1/3 お休み
 ★ナイス・ホーム：年末年始休みなし
 ★愛宕の家：年末年始休みなし
 ★ナイス・キッズ：12/30～1/4 お休み
 ★喫茶のひら：12/31～1/3 お休み
 ★のひら治療院：12/28～1/6 お休み

パトタッチ/ナイス・ホーム
 ナイス・ホームはこの1ヶ月で、数名の方々が登録解除となりました。身体状況や在宅介護の状況、利用方法の見直し等、理由は様々です。
 小規模多機能型居宅介護の制度では、通いと泊まり、訪問が1箇所利用できるため、状況、状態に合わせて柔軟な対応ができます。その特徴から、退院直後、自宅での生活に不安があり、どんな関わりが必要かを見極めるために泊まりを利用される方やご本人やご家族の様子に合わせて急な泊まりや訪問対応が想定される場合等、臨機応変に対応できるナイス・ホームを希望されます。
 利用費用は、要介護度別に一ヶ月毎の定額料金です。要介護度別にその範囲で必要な関わりとサービス量を提案させていただきます。しかし、状態が安定された場合、定額料金のサービス量より少なくとも定額料金が発生します。その場合は、利用したサービス分の費用を負担していただく制度の方が良いと考え、登録解除を提案します。
 馴染みの関係が築けたところでの、利用する制度の変更(環境の変化)は、ご本人やご家族にも戸惑いもあるかもしれません。しかし、小規模多機能型居宅介護から居宅のケアマネさんへ、また、反対に居宅のケアマネさんから小規模多機能型居宅介護へという流れを、円滑に行えることが、ご本人、ご家族にとって経済的メリットであり、自立への道にも繋がると私は思います。今回、数名の方々の登録解除にて、各ケアマネさんとの連携、ご協力が得られたことに感謝です。また、それで終わりではなく、状況や状態の変化に合わせて、制度の見直しができるよう、日ごろからの連携、関わりを継続させて頂きたいと思っています。(Y・O)



10月の誕生日会はサンライズさんのご協力を頂きました。キレイな音色がフロアを包みました。ありがとうございました♪

太陽の恵みを受けて・・・干し柿 & 豆のさやを枝から外す作業

非常災害時の対応/S・O・S
 今年も台風による大きな被害のニュースが多く、改めて自然災害の怖さを感じています。非常災害時に、施設として出来る事、そして地域密着型サービスの事業所として地域で生活している方にどういった対応ができるのか、再確認しました。私たちは、【利用者さんの地域の避難所への避難の声かけ、誘導を行うこと】が必要になります。
 つまり、災害時の警報や避難の情報収集を行い、利用者さんの地域の避難場所を把握し、その方の家族構成や身体的な事情も考慮した上で、声掛けや誘導をする必要があると感じています。
 先日は半期に一度実施している、総合防災訓練や災害時の対応について、消防署の方の協力の下、研修を行いました。安全に避難経路が確保できているか施設の点検もしていただきました。
 いつ来るか分からない災害時に備えて外部、内部研修、知識と実践で、いざという時に行動できる術を身に付けていきたいと思っています。(Y・O)



認知症って？/愛宕の家
 あらかじめお伝えしておきます。私は、専門的に介護というものを勉強した事はなく、むしろ無知に等しいくらい。だからこそ、毎日の生活の中で感じた素直な思いだと思ってください・・・。
 ひとくちに認知症と言っても人によってその症状は様々です。簡単に言うと認知症は、病気によって起こる症状や状態で、老化による物忘れとは異なるそうです。愛宕の家にも認知症と診断されている方は、幾人かいらっしゃいます。物忘れは当然のようにあり、情緒不安定になって怒ってしまわれたり、悲観的になったり、心配性になられたりする事があります。でも前述と重ね合わせると、認知症ではあるものの、それは年相応と本来の性格から来るもので、そのほとんどは認知症の症状といえるものではないのでは？等と、スタッフと話しているうちに、私の頭が混乱してきました(汗)。
 結局のところ、みなさん年相応であり、認知症であろうがなかろうが、楽しく穏やかに暮らしていければ、それが一番良いのでは、という思いに至りました。でも、それが、認知症の方々にとっても、よい環境であるのかもしれませんが、いずれは自分も行く道です。今、この一瞬の出来事をきちんと受け止め、外での出来事を共有し、テレビを見ながら、会話をし、一緒に食事を摂る。何も変わらない、普通の生活が送れるようにする事が私達の役目。そんな思いで、“愛宕の家のお母さん役”として、皆さんとお付き合いしていこうと思う今日この頃です。(K・T)

<<編集後記>>そろそろ、各事業所、毎年1回の情報公表調査の時期です。日ごろの関わりや書類等の見直しになるよう、また、今後の業務に活かせるよう、意識して調査に臨みます。(Y・O)

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。
 11月の発送部数 106部